

田まち第 155 号
平成20年10月16日

国土交通省道路局長 殿

田野町長 安 岡 雅



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付、国道企画第37号で依頼のあった標記の件については別紙のとおり提出します。

記

- ① 道路行政全般について改善すべき点、要望提案など
- ②-1 地域の現状と抱える課題
- ②-2 地域の目指すべき将来像
- ③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

高知県田野町

道路は我々の生活・産業・社会活動を支える最も基礎的なインフラであり、その整備を長年にわたり熱望してきているところである。

四国東南部地域は、温暖な気候や恵まれた自然環境、遍路道に代表される歴史・文化的資産などの観光資源を有した地域である。またその自然条件を生かした施設園芸農業や漁業が盛んで生鮮食料品の供給基地であるとともに、先進産業分野で世界シェアの大部分を占める企業も複数存在する。

私たちの地方が、その資源を最大限に生かしながら地域の活性化につなげ、安全で快適な生活環境を確保し、都市と連携しながらお互いの機能を十分に発揮するうえにおいて、四国内や都市と地方を結ぶ道路整備は最も重要な基盤施設として必要不可欠である。

しかし、四国東南部地域は広域的な基幹道路が国道５５号の一路線しかなく、慢性的な交通渋滞や集中豪雨・台風時の交通途絶を余儀なくされている。更に国道４９３号は改良率が約２５％であり頻繁に交通途絶を余儀なくされている。そのため、事故や災害など人命に関わる緊急時をはじめ、地域住民の経済活動や通勤・通学などの日常生活にも大きな支障をきたしており、都市部との格差拡大の一因にもなっている。

そして、近い将来に高い確率で発生すると予測されている南海・東南海地震が起きれば、大部分が海岸線に接している国道は津波などにより寸断され、我々沿線市町村が『陸の孤島』となることも危惧される。

さらに、平成２１年度から道路特定財源を一般財源化する基本方針が閣議決定されるなど、遅れている地方の道路整備の財源が確保されるか極めて不透明な状況である。ついては、四国を『８の字』で結び、安全で安心できる暮らしを確保する『命の道』・『四国８の字ネットワーク』の整備が早期に進められるよう、次の事項を強く要望する。

記

- 一、道路特定財源制度の一般財源化にあたっては、まず道路の中期計画の見直しに、地方にとって真に必要な道路を計画に盛り込むとともに、財源が受益者負担の考え方に基づく道路利用の目的税であることを踏まえて、必要な道路整備予算を確保する仕組みを作り、道路整備が遅れている地方に対して重点配分すること。
- 一、地域が自立するための経済産業基盤の確立とともに、災害時の交通確保や救急医療などの住民の命を守るため、四国横断自動車道、高知東部自動車道、阿南安芸自動車道をはじめとする『四国８の字ネットワーク』の整備を強力に推進すること。
- 一、住民に密着した国道５５号、４９３号の要改良区間の早期整備や防災対策などを図ること。

四国８の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟

高知東部自動車道整備促進期成同盟会・一般国道５５号・阿南安芸自動車道整備促進期成同盟会・国道４９３号線整備促進期成同盟会・徳島県南部地区四国横断自動車道建設促進同盟会

以上の内容で四同盟会が要望活動を行っています。

今後の道路行政についての意見・提案

②—1 地域の現状と抱える課題

高知県田野町

○ 現状

- ① 国道55線一本しかない田野町は、大きな災害が発生し、国道が遮断されれば、迂回道路がないために陸の孤島となってしまう恐れがあります。
30年以内に50%以上確率で発生が予想されている南海・東南海地震が発生すれば現在の国道では救急車も走れない、助かる命も助からない状況が予想されます。
- ② 田野町の国道は東西に2Kmで非常に短い距離ですが、通行量も多く（1日平均15,000台）なっており、朝夕のラッシュ時には渋滞も起こっております。

○ 課題

- ① 迂回道路としての高規格道路の整備が早急に急がれます。
- ② 国道に右折レーン等が整備されていない箇所があるため、しばしば渋滞が
おこり、青信号でも動けない事がある。
現在は交通事故が起こる前に、警察署長・土佐国道事務所奈半利出張所長に
要望を提出しているが、現実には道路幅を拡幅できないので、苦慮している
ところです。
また、現在の国道55線は、ほとんどが50キロ以下の規制道路であり、二
桁国道にふさわしい、現国道の重点的な整備が必要と考えます。

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

高知県田野町

四国一小さな町として今後、地域おこしを行って行くうえで、重要になってくるのは若者が安心して住めるまちづくりです。現状では、働き口がないために都市部に出て行っています。

高速道路または高規格・自動車専用道路が出来れば都市部までの通勤時間が短縮され、人口流出も減り、活気ある町となります。

また、救急搬送時間を短くして、設備の整った医療センター等への搬送が出来る状態を作りたい。災害時に置いて陸の孤島とならない災害に強い道路を作るのが責務と考えます。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表例、期待する効果や評価等）

高知県田野町

○ 重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 地域活力の向上	・ 土佐くろしお鉄道「ごめん・なはり線」が平成14年度に開通し、翌平成15年度に田野駅直販施設〔田野駅屋〕がオープンしました。平成16年度には「道の駅」に登録されましたので、利用客も年々増加し平成19年度は20万人/年の方が利用されています。売上も2億円を超えてきており田野町の地域活性につながっています。	・ 今後、道の駅に期待する効果としては、道路情報掲示板等の充実が必要かと思います。 県外からの旅行者も多く、国道55号の通行規制・高知道の渋滞情報が有ればより良い旅行等が出来ると思います。	